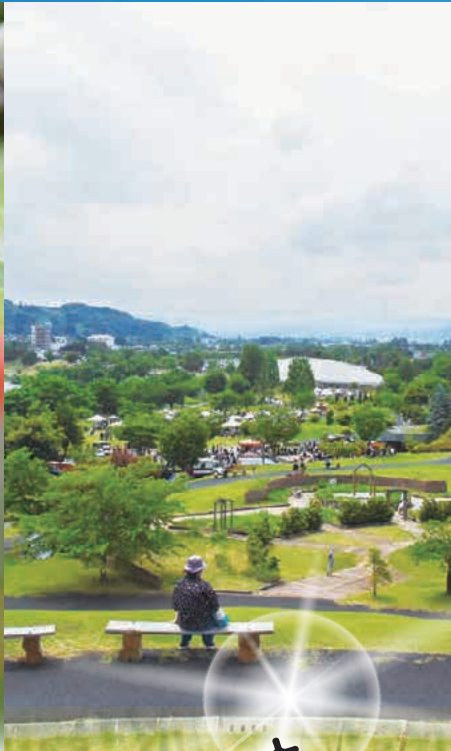
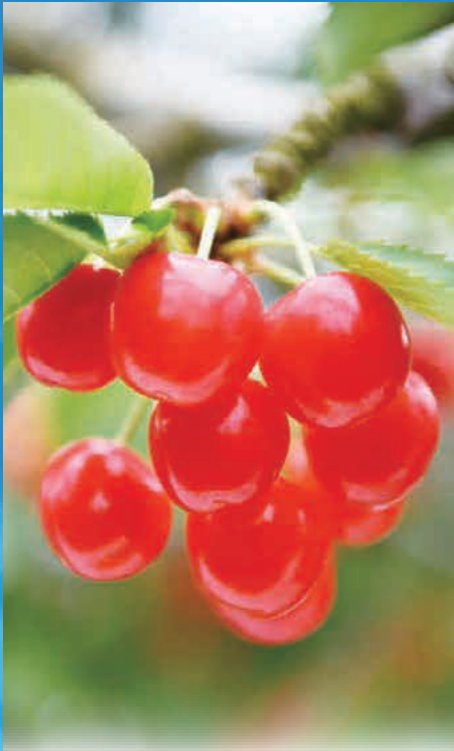




さくらんぼと笑顔かがやく
安全・安心なまち寒河江



寒河江市イメージキャラクター
チェリン

寒河江市勢要覧

- 01 市長あいさつ、市民歌、市の概況
- 03 子どもがすくすく育つまち
- 05 活力と交流を創成するまち
- 07 元気に安心して暮らせるまち
- 09 一人ひとりが力を発揮するまち
- 11 便利で快適に生活できるまち
- 13 寒河江市とは
(市章、市のシンボル、
さくらんぼのまち寒河江推進条例、
寒河江市民さくらんぼ憲章、市のあゆみ)
- 15 都市宣言、姉妹都市・友好都市
- 17 寒河江市へのアクセス
- 19 市内の名所マップ
- 21 新第6次寒河江市振興計画

市の概況

山形県の母なる川・最上川と清流・寒河江川が市街地を包むように流れ、月山と葉山、遠くに蔵王、朝日連峰を望み、四季の変化に富んだ美しい景観と豊かな自然環境に恵まれ、千年以上もの間育まれてきた歴史や文化を有しています。

■位置(市役所)／

東経140度16分、北緯38度22分

■面積／139.03平方キロメートル

■人口／39,356人

■世帯数／14,847世帯

※令和7年2月28日現在

寒河江市民歌

作詞 北川康宏
作曲 佐藤眞

一、やさしい風に さそわれて
あるいてみよう
ふるさとを
せせらぎひかる 寒河江川
たわなにみゆる サクランボ
心にあかりを ともしてくれる
寒河江は夢が はずむまち

二、かがやくひざし あびながら
みつめてみよう
ふるさとを
季節の花が さきほこり
緑にはえる 月山(つきのやま)
心をつないで しあわせつくる
寒河江は明日を 描くまち

三、ときめく想い だきしめて
そだててゆこう
ふるさとを
みこしをかつぐ 若いあせ
歴史をきざむ 慈恩寺よ
心の翼を 未来にむけて
寒河江は希望と 歩むまち



Message

寒河江市長
齋藤 真朗



寒河江市は、山形県のほぼ中央に位置し、周囲に月山、葉山、朝日連峰、蔵王を臨み、清流寒河江川と山形県の母なる川、最上川が大地を潤す風光明媚で豊かな人情にあふれた美しいまちです。

春には、さわやかな青空に雪化粧をした月山・葉山が見事なコントラストを描き、桜に始まり、サクランボ、桃、ツツジなど多くの花が咲き誇ります。初夏には真っ赤に色付いたサクランボがたわなに実り、全国からの観光客でにぎわいます。田園が黄金色に染まる秋には、東北屈指の規模を誇る「神輿の祭典」で街中が熱気に包まれます。

また、奈良時代に聖武天皇の勅命により開基したと伝えられ、30体余りの国指定重要文化財仏像群を所蔵する古刹・慈恩寺が杉木立の静寂の中に厳かに鎮座し、その旧境内は国史跡に指定されています。恵まれた自然とともに寒河江独特の伝統行事や祭りなど、歴史と文化を育んできました。

本市の高速交通網は、2つのインターチェンジが整備されるなど、交通の要衝として周辺市町や隣県との連携強化を図っています。積極的な企業誘致で、県内有数の工業団地に成長した寒河江中央工業団地には優良企業が立地し、産業経済の基盤となるなど、県内陸部の中核都市として大きく飛躍しています。

これまで先人が築き上げてきた本市の誇りを受け継ぎ、さらに磨き上げ、市民の皆さまとともに時代に対応した施策を展開し、市民誰もが笑顔で幸せに暮らし続けられるまちづくりを目指しています。



安心して結婚・出産することができ、心豊かに楽しく、子育てできる環境を整備するとともに、教育の充実により実践力を育み、大きな夢を持つ子どもがすくすく育つまちを目指します。

学校と地域が連携・協働して運営に取り組む学校「コミュニティースクール」及び、コミュニティ・スクールと企業・団体をつなぐ「さがえコンソーシアム」構想で、未来を担う子どもたちに探求的な学びの進化と郷土愛の醸成を図っています。



コードモシゴトin寒河江小学校

社会のグローバル化に対応した英語教育の充実に向け、各学校に派遣される外国語指導助手（ALT）。小学校入学時から英語に慣れ親しむ活動や学習を小学校と中学校が連携しながら推進し、国際理解教育にも努めています。



外国語指導助手（ALT）



乳幼児健診

出産や子育てが安心してできる環境の整備を図っています。スマートフォンやパソコンで利用できる子育てアプリを運用し、市が行う乳幼児健診等のお知らせ通知や、保健師・助産師からのアドバイス等を行っています。

子どもがすくすく育つまち



令和6年4月にオープンした屋内型児童遊戯施設
CLAAPIN SAGAE

安心して生み育てられる環境づくり

安心して結婚・出産・子育てすることができ、子どもがすくすく育つ環境づくりを目指します。

きめ細かな

保育環境の整備

子育て世代が心豊かに楽しく子育てできる環境づくりを目指します。

子育てを支える

環境づくり

すべての子どもが健やかに成長し、地域全体で子育てできる環境づくりを目指します。

豊かな心と健やかな体の育成

互いに思いやり尊重し合う心、ふるさとを愛する心、そして健やかな体を育む教育を推進します。

未来を切り拓く

学ぶ力の育成

確かな学力を身に付け、これを基盤として未来を切り拓く資質や能力を高める教育を推進します。



子育て支援の拠点施設として、児童センター、子育て支援センター、ファミリー・サポート・センターの機能を併せ持っている総合子どもセンター「ゆめはーと寒河江」。遊具や絵本コーナー等を設置し、子育てに関する相談・情報提供もしています。

総合子どもセンター
「ゆめはーと寒河江」





迫力の映像で史跡慈恩寺旧境内を紹介する「慈恩寺テラス」や市内最大の観光施設「チェリーランド」などの観光スポット。市内の観光体験をもっと豊かにする市内周遊観光ガイドアプリ「ぐるぐるさがえ」を導入し、常に新鮮な観光情報を提供しています。

慈恩寺テラス



農業、商業、工業の振興を図りながら、新しい生活様式に沿った観光振興により交流人口を拡大し、移住定住施策の充実により地域を活性化し、活力と交流を創成するまちを目指します。

活力と交流を創成するまち



本市で誕生した紅秀峰。品種登録30周年を記念してイベントを開催し、その様子はテレビや新聞で大きく報道されました。紅秀峰をはじめ寒河江産農作物の魅力を発信し、「さがえルビー紅秀峰」など、ブランド力の強化と販路拡大推進を図っています。



紅秀峰品種登録30周年記念イベント

移住者を増やす取り組みを、子育て支援や住宅支援などの施策と連携して推進しています。補助制度などの直接的な支援のほか、首都圏での移住相談会や、オンラインを活用した移住セミナーの開催など、情報発信を行っています。



移住セミナー



プレミアム商品券発行

新型コロナウイルスの影響を受け低迷している地域経済循環のためのプレミアム商品券発行、ポストコロナ時代の経済社会に対応するため市内中小企業が行う新たな事業展開への支援など、賑わいを生む商工業の振興を図っています。

魅力と希望のある農業振興

担い手への農地の集積などによる生産性の向上、安心して農業が継続できる環境の整備、「紅秀峰」や「つや姫」を始めとした魅力ある農産物のブランド化による販路拡大、新規就農者の確保・育成により、現在ある農産物、農地、そして農村集落をより良くしながら将来へつなげていきます。

新しい生活様式に沿った観光振興

「新しい生活様式」に沿った受入態勢の整備、観光資源の発掘や磨き上げ、周辺自治体との連携強化による広域観光の推進などを図りながら、インバウンド（訪日外国人旅行者）を含めた観光交流人口の拡大を目指します。

賑わいを生む商工業振興

中心市街地の活性化を図るため、商業後継者、新規起業者を支援しながら、商店街の賑わいづくりに引き続き取り組みます。また、地元企業を支援するとともに誘致を進め、安定雇用を図り、市内産業の活性化を目指します。

雇用の安定と就労環境の充実

厳しい状況にある地域の雇用情勢に対応し雇用機会の充実を図るとともに、生産年齢人口が減少する中で本市の産業を担う人材を確保します。

質の高い居住環境づくり

社会情勢の変化に合わせた快適な居住環境を提供し、市民が安心して暮らし続けることができるまちづくりを目指します。

移住者をはじめとした新たな活力の創出

移住定住施策の実施と広域的な情報発信により人の流れを創出するとともに、新たなつながりによる地域活性化に取り組みます。

多文化共生社会の実現

外国人が不自由を感じずに生活するための環境づくりや文化交流の機会を増やします。



元気に安心して暮らせるまち

地域見守りネットワークの充実

全ての市民が年齢や、性別、障がいの有無にかかわらず地域社会を構成する一員としてその人らしく安心して暮らせるまちづくりを目指します。

高齢者支援体制の強化

介護予防や生活支援サービスの充実を図り、住み慣れた地域のなかで、健康で安心して生きがいを持って暮らせる環境づくりを目指します。

共生社会の実現

障がいの有無にかかわらず、全ての市民が互いに人格と個性を尊重し合いながら、生き生きと安心して暮らせる共生社会の実現を目指します。

健康長寿のまちづくり

市民一人ひとりが、生涯を通じて、生き生きと健やかに暮らせる地域社会の実現を目指します。

いのちを守る 地域医療体制の充実

地域の誰もが安心して暮らせる医療体制の確保と、安全で良質な医療環境の提供に努めています。

地域防災力の強化

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難するよう市民の防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織や消防団などの地域の防災力強化や、一般住宅の耐震化などにより、災害に強いまちを目指します。

交通事故や犯罪のない 地域づくり

交通事故や犯罪及び消費トラブルを未然に防止するために、啓発活動や相談業務の充実を図り、安全・安心な地域づくりを目指します。



医療、福祉、介護サービスの充実を図り、市民が住み慣れた地域において、健康で生きがいを持って生活できる環境を整備していくとともに、災害に強いまちづくりを推進し、元気に安心して暮らせるまちを目指します。



オレンジカフェ

認知症になっても安心して暮らせるように、地域ぐるみで支える仕組みづくりを進めています。認知症の方やご家族、認知症サポーターをはじめ地域の誰もが集える情報交換の場として、オレンジカフェ（認知症カフェ）を開催しています。



かもしかクラブ

親子で楽しみながら交通安全を学べる「かもしかクラブ」の実施や通学時等の街頭立哨、防犯パトロールにより、交通安全や防犯意識を高めています。LED防犯灯の整備や公共空間への防犯カメラの設置により、安全・安心の確保に努めています。



さわやかコグニサイズ体操

いつまでも健康で生き生きと生活するため、フレイル（加齢に伴う運動機能や認知機能の低下）予防の普及・啓発と仲間とともに介護予防活動ができる地域づくりを推進し、地域の介護予防活動支援やフレイル予防に関する教室を開催しています。

地域の防災力の強化のため、防災訓練の実施や自主防災組織を支援し、防災意識の向上に努めています。災害に備え、避難情報の提供や備蓄品の整備、指定避難所の機能充実、防災・減災対策に取り組み災害に強いまちづくりを推進しています。



市総合防災訓練

共生

元気に安心して暮らせるまち



生涯学習・生涯スポーツの充実を図りながら、地域に愛着と誇りを持つ人材育成を支援するとともに、地域住民の声を市政に反映することにより、市民一人ひとりが力を発揮するまちを目指します。



一人ひとりが力を発揮するまち



市民一人ひとりが主役の地域づくり
地域に愛着と誇りを持つ人材育成を支援するとともに、地域の特色を最大限に発揮できる環境づくりに取り組めます。

豊かな人生の生きがいづくり
市民一人ひとりが、生涯にわたって学び続ける生涯学習・生涯スポーツの充実と、その学びが次の世代につながる環境づくりを図るとともに、郷土の歴史と文化を守り、新たな発見と活用、市内外に向けて情報を発信していく取組を推進します。

男女ともに活躍できる環境づくり
男女共同参画の意識醸成を図り、一人ひとりの個性と能力が発揮できる環境づくりに取り組めます。

市民のニーズを捉えた行財政運営
人々が暮らし、働き、生み育てられる希望のある寒河江を創るため、限られた人材や財源を有効に活用し、長期的な視点に立った健全な財政運営に努めながら、計画的にスピード感を持って、市民の立場に立った温かみのある市政運営を目指します。



まちづくりを市民とともに推進するため、町会長との意見交換を行う「市長と語る市政ミーティング」。道路や公園の整備、災害時の避難所、教育に関することなどさまざまな要望が出され、活発な意見交換が行われます。



市長と語る市政ミーティング

限られた財源・職員で効果的に施策を進めるため、変化する市民のニーズに適切に対応し、真に必要な事業に力を集中させ、行政事務の効率化、市民に分かりやすい組織の構築、情報発信力の強化など、市民目線の行財政運営に取り組んでいます。



市役所窓口



パパママスクール

人権尊重の理念に対する理解を促進させ、性別による固定的な役割分担意識と社会慣行の見直しを図るため、市民の意識改革に向けた広報・啓発の推進や男女共同参画を推進する教育と学習の充実を図っています。



市民が出会い、ふれ合い、高め合いながら自主的に学び、生涯学習活動や読書の盛んなまちづくり、芸術文化に親しむまちづくりを目的に開催している「寒河江さくらんぼ大学」。市民のニーズにあった学習講座を開設しています。

寒河江さくらんぼ大学



寒河江市勢要覧 9



浄化センター内の太陽光パネル

令和4年3月に、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。省エネルギー活動の推進と再生可能エネルギーの普及拡大による脱炭素社会への転換を進め、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

新市水道ビジョンに基づき、安全で安心な水道水の安定供給を将来にわたり持続できるように、老朽化した水道管、水道設備等の更新を行い、施設の強靱化を図っています。また、公共下水道や市設置型浄化槽の整備を行い、水洗化を推進しています。



断水時の応援給水活動

JR左沢線や都市間の路線バスのほか、デマンドタクシー、市内循環バス等、持続的で利便性の高い公共交通網の整備を行っています。また、社会構造や市民のニーズに対応するため、中心市街地を囲む内回り環状線の整備などを進めています。



市内循環バス



地球温暖化防止に取り組み、緑豊かな自然空間と調和した都市空間を形成し、交通ネットワークの整備と環境保全による潤いのある生活環境の創出により、便利で快適に生活できるまちを目指します。

最上川・寒河江川が流れ月山、葉山に囲まれた自然豊かな本市の景観と調和した、都市公園の充実を図っています。中でも東北最大級のツツジを有する寒河江公園は、桜や色とりどりのツツジなどを雄大な景色を背景に楽しむことができます。



寒河江公園つつじ園



便利で快適に生活できるまち

心地よい都市空間づくり

自然空間と調和した、誰もが親しみをもち、憩いと安らぎを感じ、都市空間を形成します。

人と自然が共生するまちづくり

ごみの減量化や不法投棄の防止、身近な環境保全意識の醸成による快適な生活環境の創出と、生物の多様な生育環境との調和を図ります。

地球温暖化防止に取り組むまちづくり

地球温暖化対策としてゼロカーボン(※)の目標に、省エネルギー活動を推進と再生可能エネルギーの普及拡大により、温室効果ガスの削減を図ります。

交通ネットワークの整備

人口減少や高齢化社会への対応を見据え、道路環境の構築を図るとともに、交通ネットワークを整備することにより、便利で快適に生活できるまちを目指します。

生活を守る上下水道の整備

すべての市民へ安定的に安全で安心な水を将来にわたって供給するとともに、安らぎと潤いのある快適な生活環境づくりを目指します。





市章(昭和30年7月29日制定)

ひらがなの「さ」を図案化したもので、上部の両翼は伸びゆく勢いを表し、下部の円形は円満融和に結びつく市民の心を表しています。



市の木「さくらんぼ」 市の花「つつじ」 (昭和59年7月2日制定)

緑豊かな明るく美しい都市づくりを推進するため、市のシンボルとして「つつじ」と「さくらんぼ」を制定したものです。



市の緑「寒河江ギボウシ」 (平成16年10月27日制定)

寒河江ギボウシは、ギボウシの中でも大きな葉に鮮明な黄覆輪が入った美しい品種です。本市の市名と同じ名前を持つ唯一の植物「寒河江ギボウシ」を市の緑として将来へと継承するとともに、広く市民に普及を図っていきます。



市の魚「清流寒河江川のアユ」 (平成26年6月18日制定)

本市の豊かな自然を象徴する清流寒河江川。そこに生息するアユは、姿、香、味など総合的に高い評価を得ています。この「清流寒河江川のアユ」を、地域の資源として将来に継承していきます。



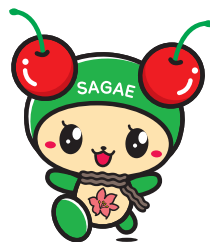
市のシンボルカラー 「さくらんぼRED」 (平成26年6月18日制定)

サクランボの鮮やかな赤は、情熱的で元気なイメージを与えてくれます。特定のサクランボの色を指定せず「さくらんぼRED」として、未来に向け躍進する「さくらんぼの里寒河江」を表すシンボルカラーとします。



市民のまつり「神輿の祭典」 (平成26年6月18日制定)

「神輿の祭典」は市民から盛り上がったまつりで、子どもから大人まで幅広い年齢層が参加し世代間交流が図られるなど、市の一大イベントとなっています。その市民の活気あふれるまつりを次世代へと引き継いでいきます。



市のイメージキャラクター「チェリン」

チェリンはサクランボの妖精で、6月の第3日曜日が誕生日です。頭のサクランボは右が佐藤錦、左が紅秀峰で、お腹にはツツジの模様入り。また、おそばのマフラーを身に着けており、新そばの季節に交換しています。

さくらんぼのまち寒河江推進条例

(令和6年6月24日制定)

寒河江市は、明治時代初期からさくらんぼの栽培が始まり、これまで全国屈指の産地として「さくらんぼ」にこだわったまちづくりを進めてきました。市制施行70周年を契機にさくらんぼを、市民の誇りと位置付け、生産者、事業者、市民及び市の役割を明らかにし、それぞれが協力し、さくらんぼのまち寒河江をさらに推進し、未来へ継承することを基本理念として、条例を制定しました。

(抜粋)

(生産者の役割)

第3条 生産者は、さくらんぼのブランド価値をさらに高めるため、高品質かつ安定的な生産を目指すとともに、消費者の安全性及び信頼性の確保に努めるものとする。

(事業者の役割)

第4条 事業者は、さくらんぼのブランド価値をさらに高めるため、さくらんぼの新たな価値及び需要の創出に努めるものとする。

(市民の協力)

第5条 市民は、生産者、事業者及び市が実施するさくらんぼに関する施策に協力し、さくらんぼへの理解を深め、消費拡大に努めるものとする。

(市の役割)

第6条 市は、さくらんぼに関する歴史、文化を伝承し、生産振興、ブランド価値の向上、新たな産業の創出その他のさくらんぼを未来へつないでいくための施策を推進する。

寒河江市民さくらんぼ憲章

(昭和52年12月26日制定)

わたくしたちは、緑ゆたかな自然と伝統に誇りをもち、フルーツのまちさがえの調和ある発展をねがい、市民ひとりひとりのちかひとしてこの憲章を定めます。

恵まれた自然を大切にし、住みよいまちをつくろう

緑と水と道路のきれいな環境をつくります

自分の手から公害をなくします

奉仕活動にすすんで参加します

おたがいに励ましあい、希望と生きがいのあるまちをつくろう

いたわりのこころをもち、小さな親切を実行します

おたがいに理解しあい、助けあいの輪を広げます

感謝と希望にみちた、しあわせな家庭をつくります

きまりと約束を守り、あかるいまちをつくろう

時間と約束ごとは守ります

人に迷惑をかけず、よいことはすすんで実行します

公共物は大切にします

文化の高い、スポーツのさかんなまちをつくろう

教養を高め、豊かなこころを育てます

ふるさとを愛し、文化財の保護につとめます

スポーツに親しみ、心身の健康につとめます

産業を振興し、躍進するまちをつくろう

勤労をとうとび、つくるよこびをもちます

自分の仕事に責任をもちます

働くことに誇りをもち、豊かなくらしをきずきます

令和6年	令和5年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年
4月	4月	5月	4月	5月	4月	10月	4月	6月	1月	6月	7月	6月
市制施行70周年記念式典開催	屋内型児童遊戯施設「さくらんぼこどもキャンパスクラッピンサガエ」オープン	新市民浴場「湯るりさがえ」オープン	点施設「慈恩寺テラス」オープン	史跡慈恩寺旧境内ガイダンス交流拠点施設「慈恩寺テラス」オープン	新第6次寒河江市振興計画スタート	の木交流センター」オープン	柴橋地区コミュニティセンター「この木交流センター」オープン	病児保育施設「ゆうぎの森」病後児保育施設「げんきの森」スタート	保嬰施設「ゆうぎの森」スタート	第6次寒河江市振興計画スタート・市病院事業管理者設置	記録参加人数2,944人の「第31回全国さくらんぼの種吹きとばし大会」が参加者数世界最大の大会に認定	さがえ未来創成戦略策定

昭和29年	昭和42年	昭和49年	昭和51年	昭和58年	昭和59年	昭和63年	平成2年	平成元年	平成11年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成20年	平成21年	平成23年
8月	11月	6月	2月	2月	10月	7月	6月	7月	10月	8月	6月	10月	11月	11月	11月	4月
寒河江町、西根村、柴橋村、高松村、醍醐村が合併して寒河江市誕生	白岩町と三泉村が合併	市役所新庁舎開庁	大韓民国安東市と姉妹都市締結	中央工業団地分譲開始	公共下水道供用開始	市の木「さくらんぼ」、市の花「つつじ」制定	大江公入部800年祭	トルコ共和国ギレズン市と姉妹都市締結	山形自動車道寒河江～山形間開通	「さくらんぼの日」制定	神奈川県寒川町と姉妹都市締結	チェリーランドブランドオープン	花の国際コンクールで寒河江のバラが世界一に	べにばな国体剣道競技開催	「せせらぎ宣言」宣誓	市総合福祉保健センターオープン

姉妹都市・大韓民国安東市 (昭和49年2月4日締結)

韓国領事から、本市と気候がよく似ている安東市でサクランボが栽培できないかという要望があった縁で、姉妹都市締結を行いました。

安東市(あんどんし)は、韓国最長河川である洛東江(ナクドンカン)の上流部に位置し流麗な自然に恵まれ、世界遺産に登録された河回村(ハフェマウル)をはじめとする伝統的な木造建築群とが調和したまちです。また、悠久の歴史の中で、義と礼を重んじた精神文化が受け継がれ、古くから高名な儒学者を輩出してきており、「韓国精神文化の首都」とよばれています。

■人口／156,533人 ■面積／1521.10平方キロメートル

※2022年2月28日現在



洛東江に臨む河回村

姉妹都市・トルコ共和国ギレスン市 (昭和63年6月25日締結)

サクランボの原産地であるギレスン市と「日本一さくらんぼの里」寒河江市が、サクランボを通して友好親善を深めようと姉妹都市締結を行いました。

ギレスン市はトルコ北部の黒海に面し、穏やかな気候に恵まれたとても美しいまちです。黒海沿岸にまで山々が迫りくるような地形にあり、海岸線からすぐに坂道が始まります。急勾配な坂道に沿うように建物が立ち並ぶ特徴的な街並みが、海岸線と並行して帯状に連なっています。また、ヘーゼルナッツの主要産地としても有名で、背後の山々にはヘーゼルナッツ畑が一面に広がっています。

サクランボは、ギレスン市から約2千年の時を経て日本までたどり着き、現在本市でたくさんの実を結び、一大産地を形成するまでに成長しています。

■人口／143,503人 ■面積／317.0平方キロメートル

※2021年12月31日現在



黒海沿岸に広がる街並み

姉妹都市・神奈川県寒川町 (平成2年11月1日締結)

本市のルーツが寒川からの移住者にあるとする説や文化的共通性、民間交流などを踏まえ、寒川町の申し入れにより姉妹都市締結を行いました。

寒川町(さむかわまち)は、神奈川県中央部を流れる母なる川「相模川」のほとりにあり、首都圏から50キロメートル圏内に位置し、湘南地方の一角を占めています。水と緑に潤った恵まれた景観と先人からの歴史と伝統をしっかりと受け継ぎ、自然と文化が調和したまちです。

海の日に開催される「浜降祭」は勇壮な祭典として知られ、県内外から約20万人もの観光客が訪れます。約40基の神輿が茅ヶ崎海岸の浜辺に降り立ち、乱舞しながら次々に入水すると会場はより熱気に包まれ、祭りは最高潮に達します。

■人口／48,584人 ■世帯／20,237世帯

■面積／13.42平方キロメートル

※2022年3月1日現在



浜降祭の様子

友好都市・台湾斗南鎮 (令和6年9月5日締結)

平成7年に寒河江ロータリークラブと斗南ロータリークラブが姉妹ロータリーを締結し、相互訪問や交換留学生の受け入れ等の交流を長年実施。更なる友好交流を図るため、友好都市締結を行いました。

斗南鎮(となんちん)は台湾中西部の雲林縣に位置する町で、豊かな水源と肥沃な土壌を持つ、農業が盛んな地域です。温暖で過ごしやすい亜熱帯気候に属し、比較的地形が平坦であることから農業生産に適しており、広大な田園風景が広がります。1年を通してさまざまな作物が育ち、主な作物として米、ヘチマ、ジャガイモ、パインアップルなどが挙げられます。

清朝時代に創建され精巧な彫刻や色鮮やかな装飾が施された媽祖廟(まそびょう)「順宮安」やローカルグルメが楽しめる「斗南夜市」など、のどかな雰囲気の中に歴史や文化が息づく町です。

■人口／約43,000人 ■面積／48.12平方キロメートル

※2024年12月31日現在



斗南鎮公所

寒河江市平和都市宣言 (昭和59年7月2日制定)

みどり豊かなふるさと寒河江を核の黒い雨で汚してはならない。

市民のしあわせなくらしと永久の平和を守るためにすべてのひとびととともに非核三原則を堅持し核兵器の廃絶を求め全市民のかたい誓いとして平和都市を宣言する。

暴力のない明るい都市宣言 (昭和62年6月26日制定)

暴力は、市民の平穏な生活秩序と安全を脅かし、青少年の健全な成長をも阻害するものである。暴力行為が多発する世相にあって、市民生活に暴力が介在する危険の増加に鑑み、いかなる暴力行為も否定し、勇気ある不屈の態度をもって全市民が一致協力し、暴力追放を強力に推進することを誓うものである。

よって、寒河江市は、ここに、暴力のない明るい都市の宣言をする。

暴走族追放都市宣言 (平成元年9月12日制定)

暴走族は、市民の平穏な社会環境と交通秩序を脅かし、青少年の健全な成長をも阻害するものであり、断じてその存在を許すことはできない。

寒河江市は、全市民とともに暴走行為、暴走族を追放し、安全で明るい社会実現のため、ここに暴走族追放都市の宣言をする。

寒河江市せせらぎ宣言 (平成6年6月24日制定)

寒河江市は、寒河江川をはじめ多くの清らかな川に包まれた美しいまちです。この祖先から受け継いできたさわやかな瀬音が聞こえる自然と環境を保全し、将来に継承していくことが、私たちの重要な責務です。

私たちは、一人ひとりが清流を守り、育て、川、水を生かし、せせらぎに彩られた潤いと活力に満ちた寒河江市を創造していくことを決意し、ここに、「せせらぎのまち・寒河江」を宣言します。

さがえっこすくすく宣言 (平成26年6月18日制定)

「さがえっこ」は、寒河江市の未来を担うかけがえのない宝であり、子どもたちが夢と希望をもち、健やかに成長することは、市民みんなの願いです。

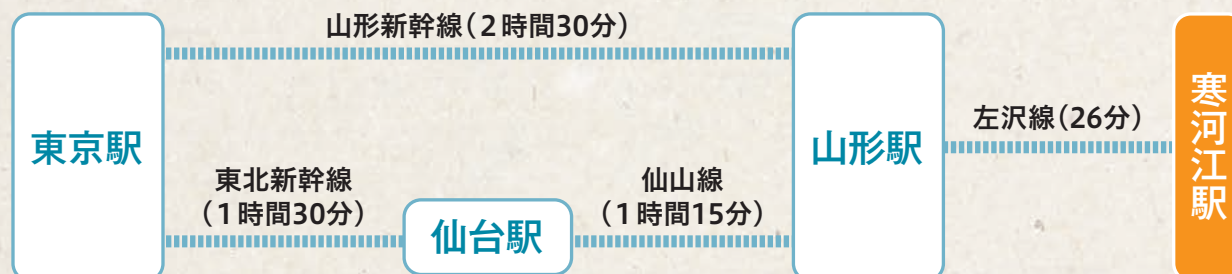
私たちは、みんなが手を取り合い、社会全体で子育てを支えるまちを目指し、ここに、「さがえっこをすくすく育むまち」を宣言します。

寒河江市ゼロカーボンシティ宣言 (令和4年3月23日制定)

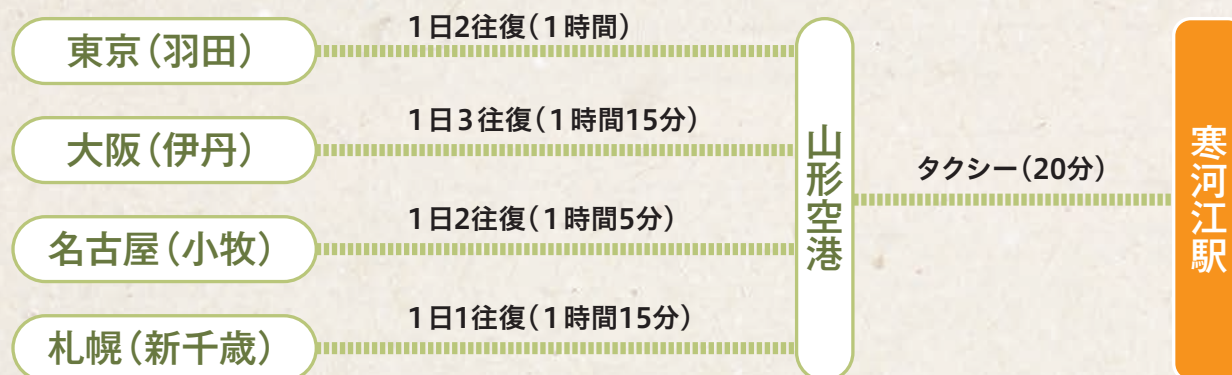
寒河江市は、緑あふれ笑顔かがやく美しいまちを未来の「さがえっこ」に引き継ぎ、安全・安心な暮らしを守るため、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを、ここに宣言します。

寒河江市へのアクセス

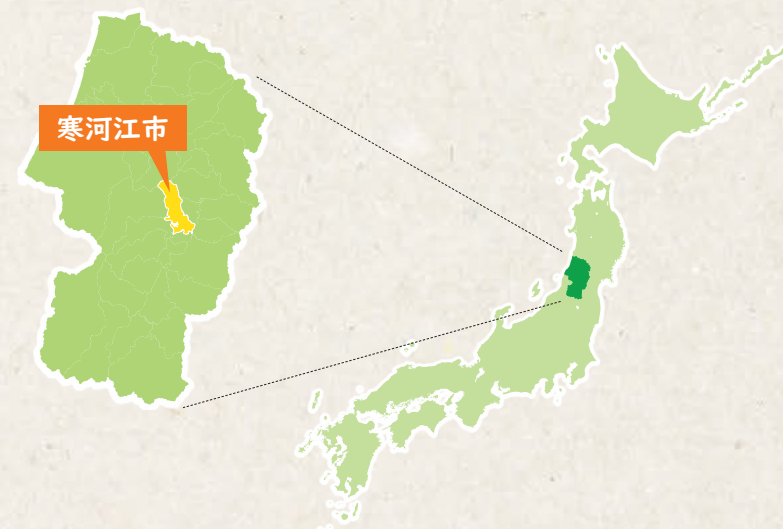
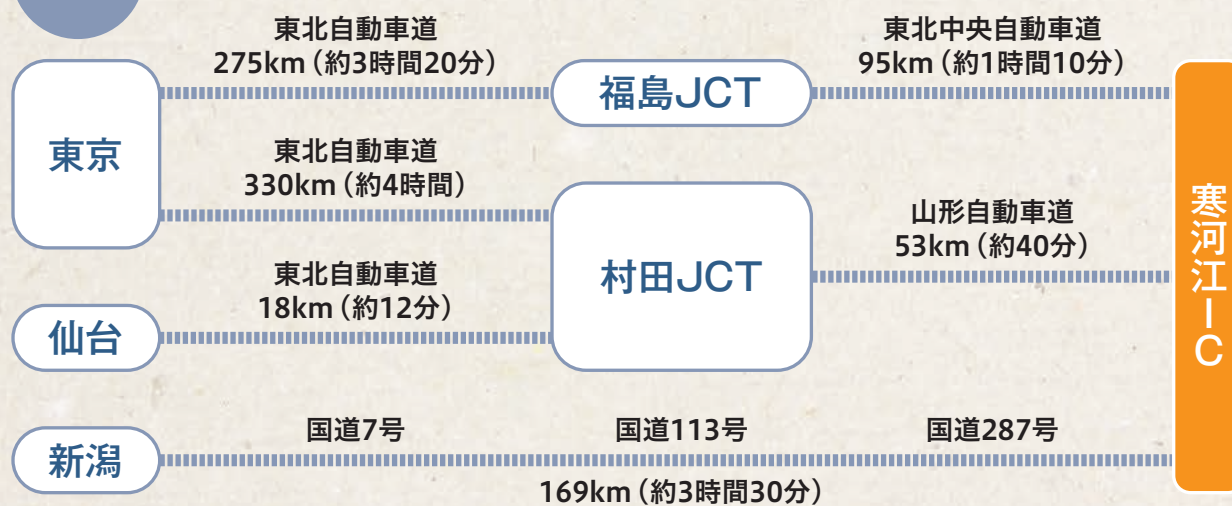
JR

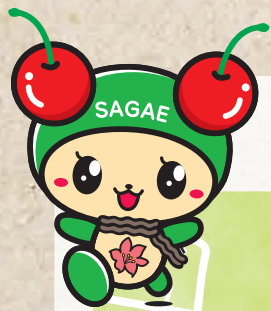


航空



車





寒河江市内の名所MAP



1 慈恩寺

悠久の歴史を有する東北屈指の古刹。重要文化財をはじめとする歴史的建造物が建ち並んでいます。



2 臥龍橋

清流寒河江川に架かる姿が龍が横たわっているかのように見えるため、この名前が命名されました。



3 慈恩寺テラス

国指定史跡「慈恩寺旧境内」の魅力を紹介する総合案内施設で、飲食休憩スペースを併設しています。



4 チェリーランド

サクランボをメインテーマに、観光物産振興・国際交流の拠点となる道の駅として、賑わっています。



5 ニの堰親水公園

蔵や水車、遊歩道などが周辺の自然と調和し、せせらぎの瀬音が人々の心に潤いと安らぎを与えます。



6 寒河江市郷土館

旧西村山郡役所・旧西村山郡会議事堂を移築して一般公開しています。建物は、県指定の文化財です。



7 つつじ園

11種類、4万3千株と東北最大の規模を誇り、市街地を眼下に奥羽の山々を見渡すことができます。



8 さくらの丘

長岡山の西側に位置し、月山、朝日連峰の眺望は絶景。桜が咲き誇る季節は、多くの人で賑わいます。



9 寒河江市役所

黒川紀章氏の設計で、日本の近代建築100選の一つに指定。庁舎内には、岡本太郎氏の作品があります。



10 寒河江神輿会館

寒河江駅前にある全面ガラス張りの建物で、神輿の祭典に繰り出す神輿を常時展示しています。



11 最上川ふるさと総合公園

滑り台など子ども向けの大型遊具や東北最大級のスケートパーク、ドッグラン等が整備されています。



12 チェリーナさがえ

年間を通じスポーツやレクリエーションを楽しむことができ、アリーナはテニスコート3面分の面積があります。



13 平塩熊野神社

本殿に県指定文化財の伝十王坐像がたたずみ、4月3日には県指定無形民俗文化財の平塩舞楽が奉奏されます。



14 グリバーさがえ

全国でも珍しい完全管理型の多目的水面広場と多目的芝生広場を有し、カヌー等で利用されています。

新第6次寒河江市振興計画

将来都市像

さくらんぼと笑顔かがやく 安全・安心なまち 寒河江

これからも本市の象徴である「さくらんぼ」を通し、さらなる魅力向上を図るとともに、緑豊かで、潤いのある安全・安心な居住環境を守り、子どもからお年寄りまで、思い思いに大きな夢を描き、みんなの笑顔が未来につながるまちづくりを進めてまいります。

◆**さくらんぼ**—— 本市では、これまで「さくらんぼ」にこだわったまちづくりを進めてきており、市の象徴として市民にも深く根付いております。今後においても輝くルビー「さくらんぼ」を通し、国内外に向けて、「さくらんぼのまち 寒河江市」のPRを図り、さらなる魅力向上を目指してまいります。

◆**笑 顔**—— 地域活力を維持していくためには、子どもからお年寄りまで、市民みんなが生きがいを持ち、笑顔で生活できるまちづくりを進めていくことが重要です。子どもからお年寄りまで、市民みんなが思い思いに大きな夢を描き、みんなの笑顔が未来につながる地域社会の構築を目指してまいります。

◆**安全・安心なまち**—— 市民生活の基盤となる緑豊かで、潤いのある居住環境を守っていく必要があります。近年、異常気象による自然災害が全国各地で頻発しており、市民生活に大きな影響を及ぼしております。このような災害に対する万全の体制整備を図り、災害に強く、犯罪のない安全・安心なまちづくりを目指してまいります。

計画期間

2021 令和3年度 ▶ 2025 令和7年度



重点目標

重点目標1 活力みなぎる住みやすいまち

子育て支援の充実をはじめとし、潤いのある生活環境の整備と魅力ある雇用環境の創出による若者の地元定住と都市部からの移住を促進し、活力みなぎる住みやすいまちを目指します。

①子どもからお年寄りまで、安心して生活できる環境整備を推進

- ◇雨天時や冬期間などの子どもたちの遊び場となる屋内型児童遊戯施設の整備
- ◇公園や緑地の計画的な整備による心地よい都市空間づくりを推進 等

②移住・定住などの新たなつながりによる地域活性化を推進

- ◇移住定住者に対する住宅の建築や購入、リフォームへの財政的支援の充実
- ◇首都圏等から移住・移転する個人や企業等のテレワーク導入を支援 等

③犯罪の未然防止を図り、快適な生活環境を創出

- ◇高齢者などに対する消費者教育の充実や道路等の屋外への防犯カメラの設置
- ◇クマやイノシシ等の野生鳥獣からの農作物被害の軽減 等

④地元企業の支援と企業の誘致による安定した雇用環境の整備を推進

- ◇地場製品の販売支援を強化するとともに、経済情勢に応じて地元企業を支援
- ◇立地優遇策の拡大や本市の地理的優位性を活かした企業誘致の推進 等

重点目標2 市民を守る災害に強いまち

全国各地で頻発している局地的な集中豪雨や記録的な猛暑などの異常気象や新型コロナウイルス等の未知の感染症の脅威から市民の生命と財産を守るため、防災・減災・感染症予防対策の強化を図り、市民を守る災害に強いまちを目指します。

①市民の防災意識の向上と防災体制の整備充実

- ◇避難所開設訓練の実施などを通じた迅速な初動体制の構築
- ◇指定避難所等における感染症対策のための防災機材や防災設備の整備 等

②感染症予防対策の強化と「新しい生活様式」に沿った体制整備を推進

- ◇感染症発生時における速やかな情報提供と感染拡大防止のための対策強化
- ◇「新しい生活様式」に即した宿泊施設・観光施設の整備支援 等

③ゼロカーボンシティ^(※1)の実現に向けて、省エネルギー活動の推進と再生可能エネルギーの普及拡大

- ◇防犯街路灯のLED化事業の継続など、省エネルギー活動を推進
- ◇太陽光発電設備の導入支援などにより、再生可能エネルギーの普及拡大 等

※1 ゼロカーボンシティ：2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを公表した地方自治体

重点目標3 未来を切り拓く子どもたちを育むまち

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの道徳性や社会性、郷土愛を育成するとともに、情報化やグローバル化に対応した教育により、確かな知識の定着を図り、実践力の向上を推進し、さがえの未来を切り拓く子どもたちを育むまちを目指します。

①コミュニティ・スクール^(※2)を推進すると共に、情報化やグローバル化に対応した実践力の向上

- ◇地域に根差したコミュニティ・スクールを目指し、学校、家庭、地域が連携した子どもの命と生き方を大切にする教育を推進
- ◇ALT（外国語指導助手）、AET（外国語指導支援員）の配置による英語に慣れ親しむ環境の充実とGTEC（スコア型英語4技能検定）導入による英語指導の強化 等

※2 コミュニティ・スクール：保護者や地域住民、学識経験者、校長、教職員等で構成される学校運営協議会制度を導入した学校。学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み。

②快適な教育環境の整備充実

- ◇家庭での遠隔授業を可能とする環境整備の充実を図るとともに、1人1台のタブレットや電子黒板等を活用した教育を推進
- ◇将来を見据え、学ぶ集団規模の適正化のため、統合等も含めた望ましい学校のあり方を検討



寒河江市イメージキャラクター
「チェリン」



発行／山形県寒河江市
〒991-8601 山形県寒河江市中央1丁目9-45
TEL0237-86-2111 FAX0237-86-7220
<https://www.city.sagae.yamagata.jp>

発行年月／令和7年3月

市公式SNSアカウント等登録用2次元コード



Youtube



X(エックス)



Facebook



LINE



登録メール